

# 償還交付運用報告書

## 損保ジャパン-T CW・MBSオープン

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

〈愛称〉 こむぎ畑

追加型投信／海外／債券

繰上償還

作成対象期間（2017年8月9日～2017年11月2日）

最終期（償還日 2017年11月2日）

受益者のみなさまへ

| 償還時（2017年11月2日）               |               |               |
|-------------------------------|---------------|---------------|
|                               | Aコース(為替ヘッジあり) | Bコース(為替ヘッジなし) |
| 償還価額                          | 10,146円65銭    | 10,952円99銭    |
| 純資産総額                         | 68百万円         | 232百万円        |
| 最終期<br>(2017年8月9日～2017年11月2日) |               |               |
|                               | Aコース(為替ヘッジあり) | Bコース(為替ヘッジなし) |
| 騰落率※                          | △0.6%         | 1.0%          |
| 期中分配金合計                       | －円            | －円            |

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン-T CW・MBSオープン（Aコース・Bコース）」は、信託約款の規定に基づき、2017年11月2日をもって繰上償還いたしました。

当ファンドは、高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

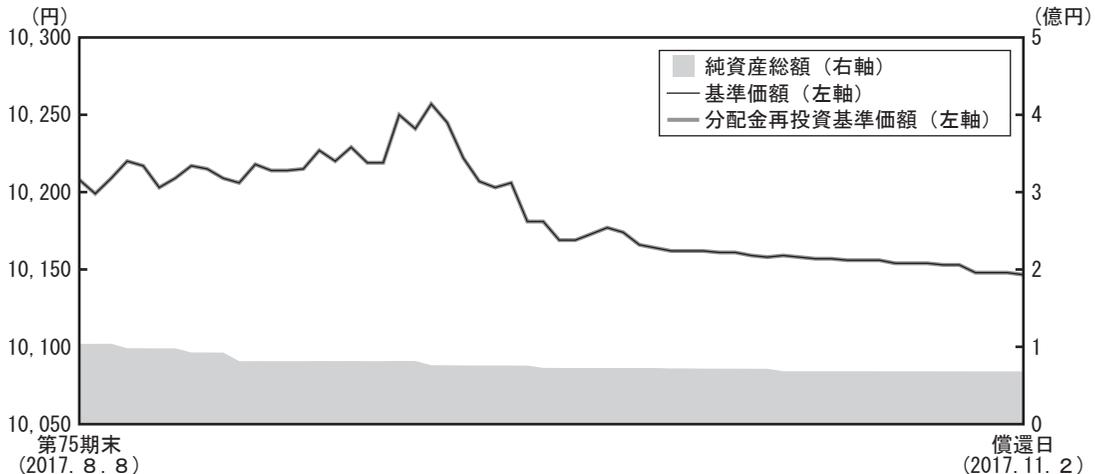


クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## 運用経過

### ■基準価額の推移

(Aコース (為替ヘッジあり))



第76期首：10,208円

償還時：10,146円65銭 (期中分配金合計1円)

騰落率：△0.6% (分配金再投資基準価額ベース)

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2017年8月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

### ■基準価額の主な変動要因

(Aコース (為替ヘッジあり))

投資している損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドが為替要因等により上昇したものの、当ファンドは為替をヘッジしているため円安ドル高の影響は受けず、実質的な投資対象であるMBSの価格が小幅に下落したこと等がマイナスに寄与しました。

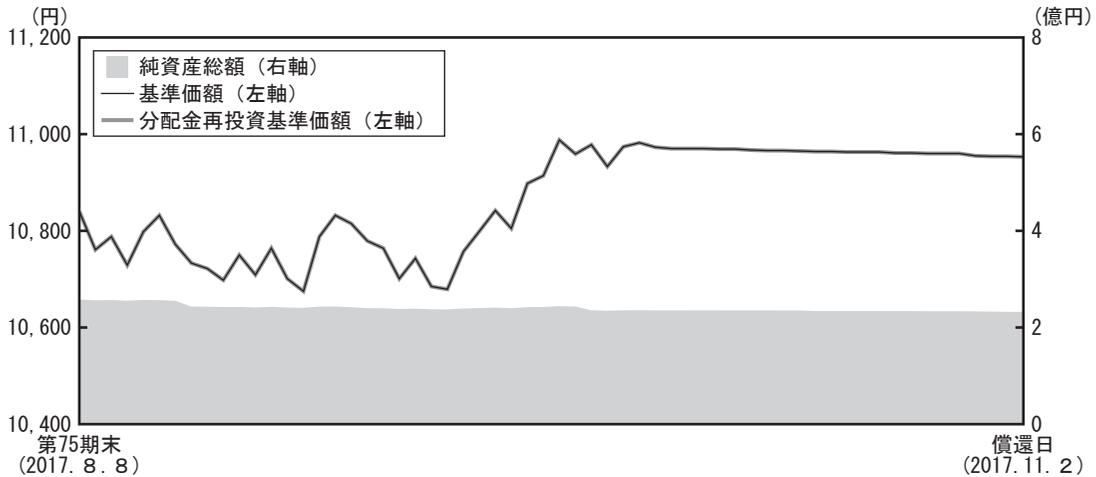
(損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド) (2017年8月9日～2017年11月1日)

期中の騰落率は+1.3%となりました。

円安ドル高が進んだことによる為替要因等が主にプラスに寄与しました。

## ■ 基準価額の推移

(Bコース (為替ヘッジなし))



第76期首：10,840円

償還時：10,952円99銭 (期中分配金合計一円)

騰落率：1.0% (分配金再投資基準価額ベース)

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2017年8月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

(Bコース (為替ヘッジなし))

投資している損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンドが為替要因等により上昇したことがプラスに寄与しました。

(損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド) (2017年8月9日~2017年11月1日)

期中の騰落率は+1.3%となりました。

円安ドル高が進んだことによる為替要因等が主にプラスに寄与しました。

■ 1 万口当たりの費用明細  
(A コース (為替ヘッジあり))

| 項目        | 最終期                    |         | 項目の概要  |
|-----------|------------------------|---------|--|
|           | (2017年8月9日~2017年11月2日) |         |  |
|           | 金額                     | 比率      |  |
| (a) 信託報酬  | 33円                    | 0.321%  | (a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$<br>期中の平均基準価額は10,187円です。 |
| ( 投信会社 )  | (18)                   | (0.178) | ファンドの運用の対価   |
| ( 販売会社 )  | (13)                   | (0.127) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価  |
| ( 受託会社 )  | ( 2)                   | (0.015) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価   |
| (b) その他費用 | 5                      | 0.045   | (b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$  |
| ( 保管費用 )  | ( 4)                   | (0.044) | 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用   |
| ( 監査費用 )  | ( 0)                   | (0.001) | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用  |
| ( その他 )   | ( 0)                   | (0.000) | 信託事務の処理にかかるその他の費用等   |
| 合計        | 37                     | 0.366   |  |

(B コース (為替ヘッジなし))

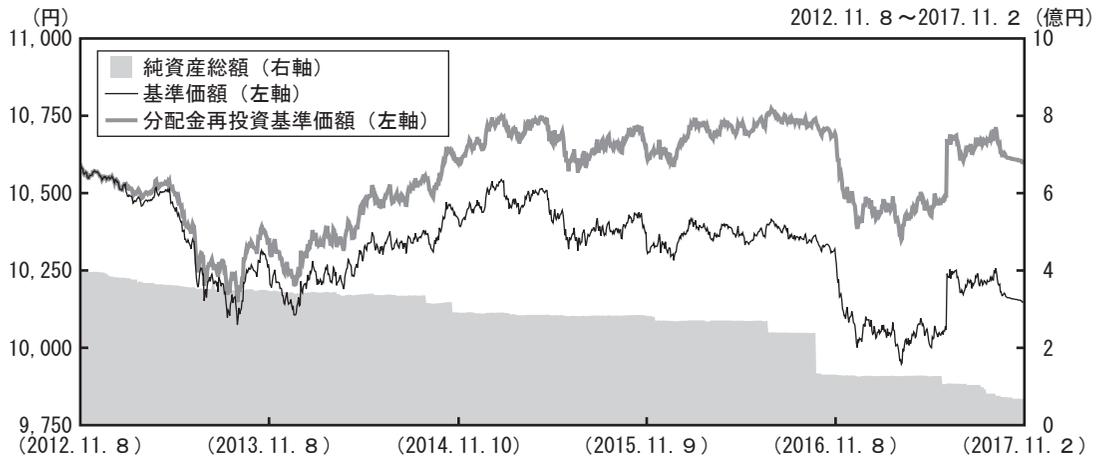
| 項目        | 最終期                    |         | 項目の概要  |
|-----------|------------------------|---------|--|
|           | (2017年8月9日~2017年11月2日) |         |  |
|           | 金額                     | 比率      |  |
| (a) 信託報酬  | 35円                    | 0.320%  | (a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$<br>期中の平均基準価額は10,867円です。 |
| ( 投信会社 )  | (19)                   | (0.178) | ファンドの運用の対価   |
| ( 販売会社 )  | (14)                   | (0.127) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価  |
| ( 受託会社 )  | ( 2)                   | (0.015) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価   |
| (b) その他費用 | 5                      | 0.049   | (b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$  |
| ( 保管費用 )  | ( 5)                   | (0.047) | 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用   |
| ( 監査費用 )  | ( 0)                   | (0.001) | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用  |
| ( その他 )   | ( 0)                   | (0.001) | 信託事務の処理にかかるその他の費用等   |
| 合計        | 40                     | 0.369   |  |

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、各ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、各ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

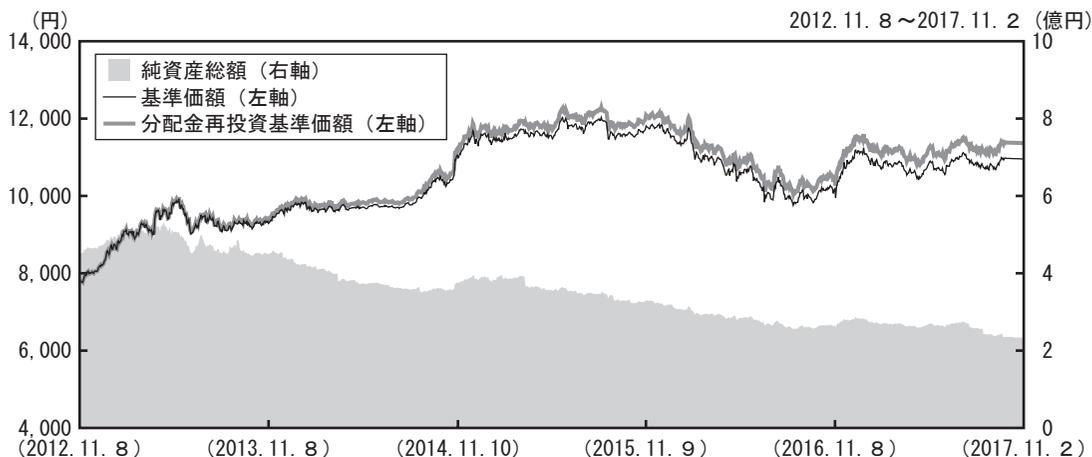
## ■最近5年間の基準価額等の推移 (Aコース(為替ヘッジあり))



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年11月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

| 決算日               | 2012年11月8日<br>決算日 | 2013年11月8日<br>決算日 | 2014年11月10日<br>決算日 | 2015年11月9日<br>決算日 | 2016年11月8日<br>決算日 | 2017年11月2日<br>償還時 |
|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準(償還)価額 (円)      | 10,583            | 10,255            | 10,412             | 10,317            | 10,293            | 10,146.65         |
| 期中分配金合計(税引前) (円)  | —                 | 100               | 100                | 100               | 90                | 60                |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | △ 2.2             | 2.5                | 0.0               | 0.6               | △ 0.8             |
| 純資産総額 (百万円)       | 396               | 348               | 291                | 282               | 130               | 68                |

## (Bコース (為替ヘッジなし))



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年11月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

| 決算日               | 2012年11月8日<br>決算日 | 2013年11月8日<br>決算日 | 2014年11月10日<br>決算日 | 2015年11月9日<br>決算日 | 2016年11月8日<br>決算日 | 2017年11月2日<br>償還時 |
|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準（償還）価額 (円)      | 7,822             | 9,289             | 10,983             | 11,811            | 10,186            | 10,952.99         |
| 期中分配金合計（税引前） (円)  | —                 | 80                | 80                 | 80                | 80                | 60                |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 19.8              | 19.2               | 8.3               | △ 13.1            | 8.1               |
| 純資産総額 (百万円)       | 453               | 448               | 374                | 330               | 265               | 232               |

■投資環境（2017年8月9日～2017年11月1日※）

○米国MBS市場

MBS利回りは前期末と比べて同水準となりました。

期初から9月上旬にかけては、トランプ政権の先行き不透明感が高まったことや、北朝鮮のミサイル発射実施による地政学リスクの高まりを受けて、MBS利回りは低下しました。

9月中旬は、北朝鮮を巡る地政学リスクに対する懸念が後退し、MBS利回りは上昇に転じました。その後も、FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーによる政策金利見通しが示され年内の利上げ観測が高まったことに加えて、堅調な経済指標やトランプ政権による税制改革期待の高まりを背景に、上昇基調が続きました。

しかし10月の月末近くには、FRB（米連邦準備理事会）次期議長が利上げに慎重なパウエル氏が有力であるとの報道などから、MBS利回りは小幅に低下しました。

MBS利回りと米国5年国債利回りの格差は、好調な米国住宅市況等を背景に、前期末比で縮小しました。

○為替市場

為替市場（ドル円）は円安ドル高が進行しました。

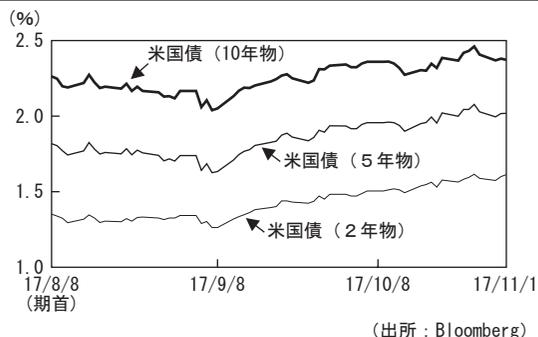
期初から8月下旬にかけては、北朝鮮を巡る地政学リスクが高まった一方で堅調な米国経済指標が発表されたことなどから、概ね横ばいで推移しました。

9月上旬は、北朝鮮を巡る地政学リスクが再び高まったことやハリケーンによる米国経済への被害への懸念から、円高ドル安が進みました。

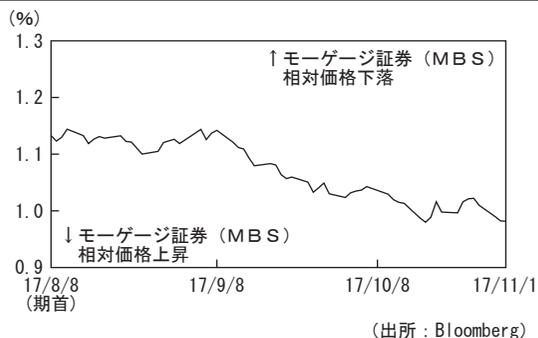
しかしその後は、米国の年内利上げ観測の高まりや堅調な経済指標、トランプ政権による税制改革期待を背景とした米国金利の上昇を受けて、円安ドル高基調で進みました。

※マザーファンドへの投資期間における投資環境を記載しています。

米国債利回りの推移

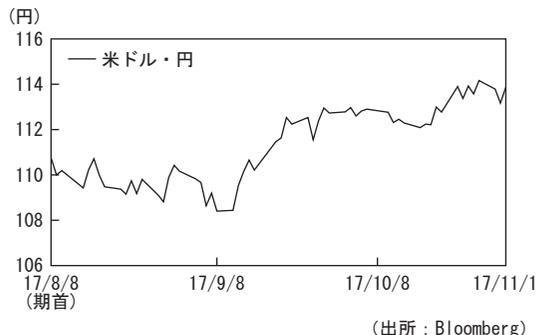


MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デュレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

**■当該投資信託のポートフォリオ****(Aコース(為替ヘッジあり))**

当ファンドの運用については、損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、為替ヘッジにつきましては、原則外貨建資産の概ね99%±1%の範囲内でコントロールしました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

**(Bコース(為替ヘッジなし))**

当ファンドの運用につきましては、損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

**(損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド) (2017年8月9日~2017年11月1日)**

当マザーファンドは米国ドルベースで「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」を上回るリターンを獲得を目指しました。

当マザーファンドのデュレーションは、「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」のデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としております。デュレーションの推移については、総じてベンチマークに対して短めのデュレーションを維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

(Aコース(為替ヘッジあり))

(Bコース(為替ヘッジなし))

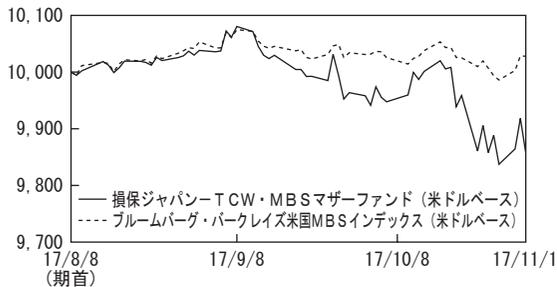
各ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

### <損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異>

当期の「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」の米ドルベースの騰落率(2017年8月9日~2017年11月1日)は-1.4%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率+0.3%を下回りました。

当ファンドの償還決定を受けて円キャッシュ化を進めたことで、その後の円安ドル高の恩恵を享受できなかったことがマイナスに寄与しました。

### 損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスの推移(米ドルベース)



(注) 「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」の基準価額(米ドルベース)とブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス<sup>\*</sup>(米ドルベース)を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額(米ドルベース)は、各基準日の基準価額を当日の為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

**■分配金**

該当事項はありません。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

**<償還を迎えて>**

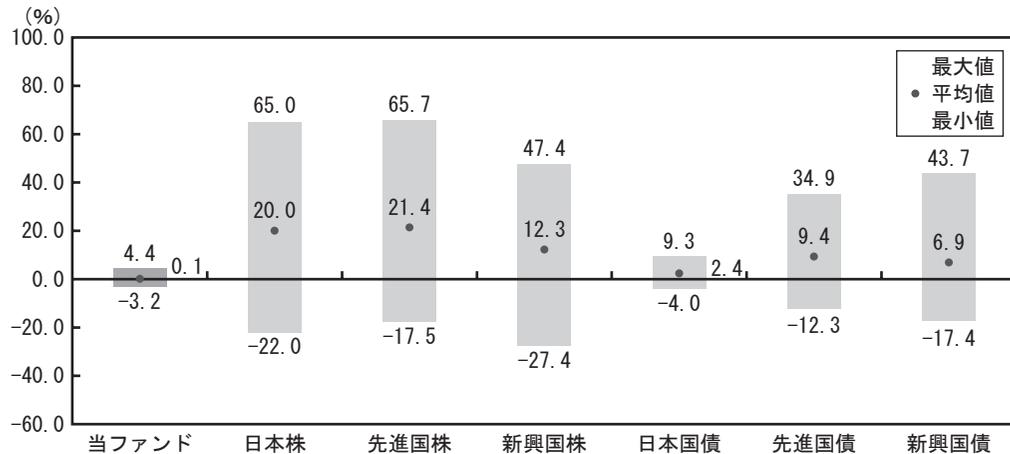
当ファンドは、2017年11月2日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■当該投資信託の概要

|        |   |                               |
|--------|---|-------------------------------|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／債券   |                               |
| 信託期間   | 1998年10月30日から2017年11月2日まで（当初、無期限）   |                               |
| 運用方針   | 信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。   |                               |
| 主要投資対象 | 損保ジャパン-TCW・MBSオープンAコース(為替ヘッジあり)   | 損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド<br>受益証券 |
|        | 損保ジャパン-TCW・MBSオープンBコース(為替ヘッジなし)   |                               |
|        | 損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド   | 米国ドル建のMBS                     |
| 運用方法   | <p>①高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券、MBS）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して積極的な運用を行います。MBSは、主として住宅ローンを担保に発行された証券です。</p> <p>②実質的な投資対象証券は、米国政府または米国政府系機関保証のもの、またはAA格相当以上の長期格付が付与されている民間発行のものに限ります。また、ポートフォリオの平均格付は高位に維持することを目指し、信用リスクの低減に努めます。</p> <p>③マザーファンドの米国ドルベースの運用は、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。なおマザーファンドの米国ドル建てMBS運用にかかる権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p> <p>④「為替ヘッジあり」コースと「為替ヘッジなし」コースがあります。</p> |                               |
| 配分方針   | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>  |                               |

## ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(Aコース (為替ヘッジあり))



期間：2012年11月～2017年10月

\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (T O P I X) (配当込み)

先進国株・・・M S C I コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・N O M U R A - B P I 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

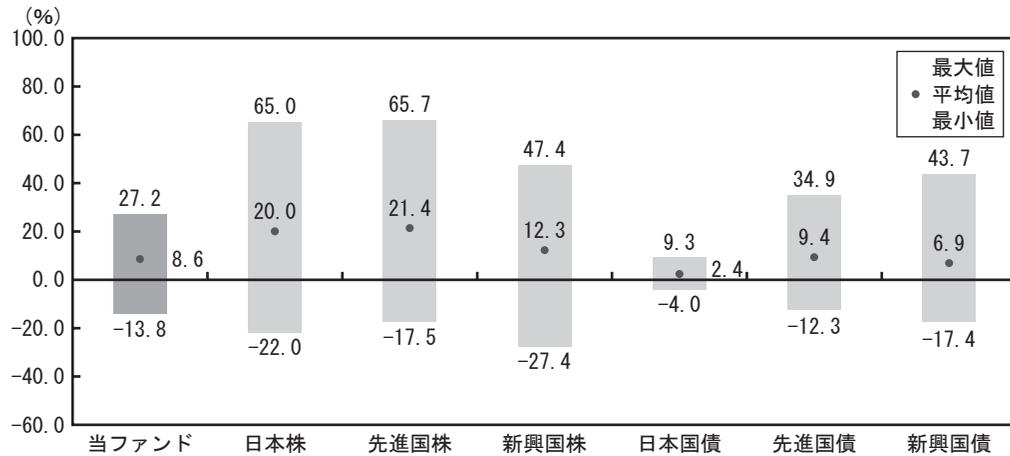
新興国債・・・J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(Bコース (為替ヘッジなし))



期間：2012年11月～2017年10月

\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### ■当該投資信託の組入資産の内容

#### ○組入ファンド

(Aコース (為替ヘッジあり))

償還時における組入ファンドはありません。

(Bコース (為替ヘッジなし))

償還時における組入ファンドはありません。

#### ○資産別配分

(Aコース)

(Bコース)

#### ○国別配分

(Aコース)

(Bコース)

#### ○通貨別配分

(Aコース)

(Bコース)



コール・ローン等  
100.0%



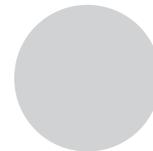
コール・ローン等  
100.0%



日本  
100.0%



日本  
100.0%



日本円  
100.0%



日本円  
100.0%

(注) 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

### ■純資産等

(Aコース (為替ヘッジあり))

| 項目         | 償還時         |
|------------|-------------|
|            | 2017年11月2日  |
| 純資産総額      | 68,284,617円 |
| 受益権総口数     | 67,297,706口 |
| 1万口当たり償還価額 | 10,146円65銭  |

※当作成期間(最終期)中における追加設定元本額は182,627円、同解約元本額は34,632,919円です。

(Bコース (為替ヘッジなし))

| 項目         | 償還時          |
|------------|--------------|
|            | 2017年11月2日   |
| 純資産総額      | 232,384,212円 |
| 受益権総口数     | 212,165,132口 |
| 1万口当たり償還価額 | 10,952円99銭   |

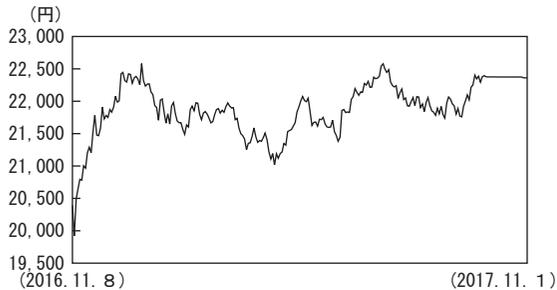
※当作成期間(最終期)中における追加設定元本額は258,743円、同解約元本額は25,955,992円です。

## ■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <損保ジャパン-T CW・MBSマザーファンド>

#### ○基準価額の推移



#### ○1万口当たりの費用明細

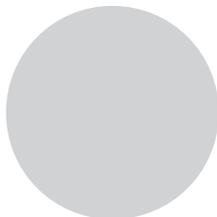
(2016年11月9日～2017年11月1日)

| 項目              |             |
|-----------------|-------------|
| その他費用<br>(保管費用) | 25円<br>(25) |
| (その他)           | ( 0)        |
| 合計              | 25          |

#### ○組入上位10銘柄

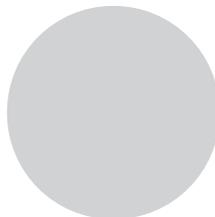
償還時における組入銘柄はありません。

#### ○資産別配分



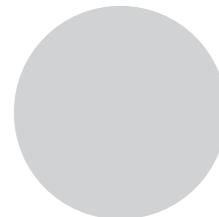
コール・ローン等  
100.0%

#### ○国別配分



日本  
100.0%

#### ○通貨別配分



日本円  
100.0%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの償還日（2017年11月1日）のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ 指数に関して

### ○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。